

八神殿に関する以下の文章を読んで問1から問4までの設問に答えてください。

律令制における神社行政の中央官庁・神祇官に奉斎された官衙（かんが）神のうち、【ア】の祭る神八座を総称して八神といい、その八字（う）の神殿を名づけて八神殿と呼んだ。『延喜式』巻九「神名上」には次のようにある。

【ア】の祭る神 八座（並（みな）大。月次・新嘗。中宮・東宮の【ア】も亦同じ。）

神産日神 高御産日神

玉積（たまる）【イ】神 生（いく）【イ】神  
足（たる）【イ】神 大宮売（おおみやのめの）神

御食津（みけつ）神 事代主神

#### 問1

【ア】に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 御巫（みかんなぎ）
2. 坐摩（いかすりの）巫
3. 御門（みかどの）巫
4. 生嶋（いくしまの）巫

#### 問2

下線部の八神殿の説明として間違っているものを選んでください。

1. 八神殿は神籬磐境の神勅に基づいて建てられた神殿とされている。
2. 宮中に八神殿が建てられたのは平城京からのことと推測されている。
3. 八神殿は、平安京では、神祇官の西院（斎院）内の西築垣側に一郭を占めていた。
4. 『延喜式』には、その祭祀の奉仕者が替わるたびに造替することが規定されていた。

1  
級

#### 問3

【イ】に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 直日（なおび）
2. 皇親（すめらがむつ）
3. 和魂 4. 産日

#### 問4

上記の八神についての以下の記述のうち間違っているものを選んでください。

1. 『古事記』『先代旧事本紀』には八神奉斎の起源が書かれている。
2. 『延喜式』にあるように御食津神は宮内省大膳職にも祭られていた。
3. 大宮売神は『古語拾遺』『天石窟戸開き』の条と『延喜式』巻八に所収の「大殿祭」に出てくる神様である。
4. 八神は天皇はじめ中宮・東宮、院の鎮魂のために霊能を発揮する神々とされる。

➡『神社のいろは要語集 祭祀編』30 ページ「八神殿」

問1 正解 1      問2 正解 2  
問3 正解 4      問4 正解 1

宮中三殿の歴史に関して書かれた以下の文章を読んで問5と問6の設問に答えてください。

宮中三殿は賢所と皇霊殿、神殿からなるが、賢所は皇祖・天照大御神を奉斎する御殿で、皇祖の神勅を奉じ、神鏡を皇祖と仰いで祭祀が行われる。京都にあった時代は紫宸殿の東南にあったが、明治2年の東京奠都後は、東京宮城（きゅうじょう）内・山里というところの内庭に鎮座された。明治4年、【ア】内に鎮座していた八神殿の祭神である中央・八神、東座・天神地祇、西座・歴代皇霊のうち【イ】を賢所同殿に遷座した。翌5年4月には、【ウ】も賢所域内の神宮御拝所に遷座したので、こ

れより皇霊、八神、天神地祇ともに賢所同域に奉ることとなった。同年11月、【ウ】を合わせて神殿と称することとなり、以後、八神殿の名称は使われなくなった。なお、明治10年には、歴代の皇后、皇妃、皇親も併せ祭ることとなって今日に至っている。

#### 問5

【ア】に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 神祇官      2. 太政官
3. 神祇省      4. 教部省

#### 問6

【イ】【ウ】に入る言葉の組み合わせとして正しいものを選んでください。

1. イ、八神、天神地祇    ウ、歴代皇霊
2. イ、歴代皇霊    ウ、八神、天神地祇
3. イ、天神地祇    ウ、八神、歴代皇霊
4. イ、八神、歴代皇霊    ウ、天神地祇

➡『神社のいろは要語集 祭祀編』92 ページ「宮中三殿と神嘉殿、山陵の歴史」

問5 正解 3      問6 正解 2

神籬と磐境のことについて書かれた以下の文章を読んで問7から問11までの設問に答えてください。

「神籬」の語の初出は『日本書紀』天孫降臨の段の第二の一書、「高皇産靈尊、因（よ）りて勅（みこと）のり）して曰（のたま）はく、吾（われ）は則ち天津神籬及び天津磐境を起し樹（た）てて、まさに吾孫（すめみま）の為に斎（いわ）ひ奉（まつ）らむ。汝（いまし）、天児屋命・太玉命は、宜しく天津神籬を持（たも）ちて、葦原中国に降りて、亦（また）吾孫の為に斎ひ奉れ」である。これとほとんど同じ文章が【ア】にもある。しかし、【イ】の用例は他にも見られるが、【ウ】は非常に少なく、『日本書紀』の「【エ】紀」に「磯堅城【イ】」を倭笠縫邑に立てたことが記載されており、この「磯堅城」が【ウ】と同じ内容をもつと見られている。

「神籬」の本質については諸説がある。その第1は「古社説」とでもいうべきものである。これには「【オ】」とするもの、「【カ】」とするもの、「【キ】」とするものがある。第2は「聖域」「靈域」とする説で、そこには「垣（籬）」とするものと「城砦」とするものの2種がある。第3は「祭祀説」ともいうべきものである。これには「神饌」、「神座」とするもののほかに「神祇官」説もある。

そのなかで第3の「祭祀説」のなかの「神饌」説は、その原義を胙（ひもろぎ）肉とするものである。それに関連して、『日本書紀』垂仁天皇紀3年条や88年条に出てくるものがある。3年条の本文を挙げれば「新羅の王の子天日槍（あめのひぼ

こ）来歸（まうけ）り。将（も）て来（きた）る物は、羽太玉一箇（はふとのたまひとつ）・足高（あしたかの）玉一箇・鵜鹿鹿赤石（うかかのあかしの）玉一箇・出石小刀（いずしのかたな）一口・出石杵（ほこ）一枝・日鏡（ひのかがみ）一面・【ク】一具、并（あわ）せて七物（ななくさ）あり」とあるもので、いわゆる「八種神宝」を語っているところである。

「磐境」についても諸説があるが、考古学の成果なども含めて総合すると以下のようなことが言えそうである。古代に「磐境」と呼ばれたものは、一つの祭場舗設を通して行われた「まつり」の方法である。そして、【ケ】など単独の石を対象としたものとの区別がある。一方で、磐境には樹木が使われていることもあり、「神籬」と組み合わせされた形をとる例もあるようである。

#### 問7

【ア】に入る言葉として正しいものを選んでください。

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. 古事記  | 2. 万葉集    |
| 3. 古語拾遺 | 4. 先代旧事本紀 |

問8

【イ】【ウ】【エ】に入る言葉の組み合わせとして正しいものを選んでください。

1. イ、神籬 ウ、磐境 エ、崇神天皇
2. イ、磐境 ウ、神籬 エ、崇神天皇
3. イ、神籬 ウ、磐境 エ、垂仁天皇
4. イ、磐境 ウ、神籬 エ、垂仁天皇

問9

【オ】【カ】【キ】に入る言葉としてふさわしくないものを選んでください。

1. 神祠      2. 杜（森）
3. 栄樹      4. 宮

問10

【ク】に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 熊神籬      2. 鹿神籬
3. 蛇神籬      4. 亀神籬

問11

【ケ】に入る言葉としてふさわしくないものを選んでください。

1. 神籠（こうご）石      2. 石神
3. 磐座                      4. 巨岩

→『神社のいろは要語集 祭祀編』102 ページ「神籬」、109 ページ「磐境」

問 7    正解   3

問 8    正解   1

問 9    正解   4

問10    正解   1

問11    正解   1

問12

神体山に関する以下の文章を読んで【ア】  
【イ】に入る言葉の組み合わせとして一般的に  
間違っているものを選んでください。

古代人は神聖な山の神霊を畏れ拝して、決して  
その中に踏み入るようなことはしなかった。  
そして、時代が下り、各地の神祭りの場に社殿